



第6期幸区区民会議第7回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議事次第

日時 2017年5月26日(金) 18時半から

場所 幸区役所4階第4会議室

1 開会

2 議題

- (1) 地域資源の調査結果の検証及び発信していく地域の魅力についての確認
- (2) 今後の調査方法及び調査先についての確認

3 その他

4 閉会

《配布資料》

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
- 資料2 子育て世帯等に対する、幸区の魅力に係るアンケート調査結果
- 資料3 アンケート結果及び発信する魅力の確認について
- 資料4 魅力の発信方法について
- 資料5-1 今後の調査について
- 資料5-2 現地調査日程案

参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料2 第6回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)会議録

参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

《第7回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)獲得目標》

- ・地域資源の調査結果の検証
- ・発信していく地域の魅力についての確認
- ・今後の調査についての確認

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

1 審議テーマについて

地域の魅力発信

2 今後の取組の方向性について

- (1) 幸区の魅力となる地域資源の調査
 (2) 対象を意識した効果的な情報発信手段の検討

3 部会調査審議スケジュールイメージ

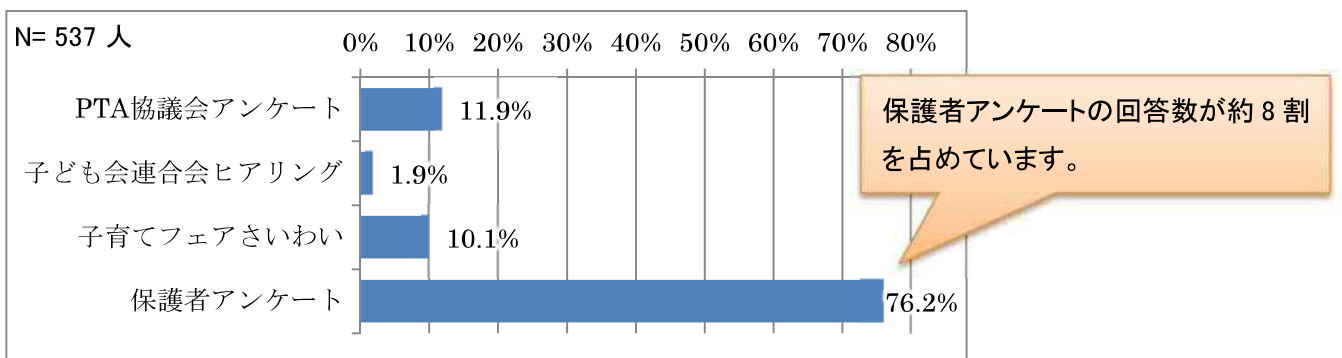
年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日 (金)	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認①
	6月27日 (火)	第8回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・発信していく地域の魅力についての確認①
	7月	第9回部会	・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	8月	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月	第10回部会	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・魅力発信に向けた情報発信手段の検討 ・魅力発信の実践的取組 </div>
	10月	第11回部会	
	11月	第12回部会	
	12月	第13回部会	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・提言内容の検討、とりまとめ ・フォーラム実施内容の検討 </div>
	1月	第14回部会	
	2月	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
	3月		第6期幸区区民会議フォーラムの実施
	2018年度	4月・5月	
6月			区長へ報告書の提出

子育て世帯等に対する、幸区の魅力に係るアンケート調査結果

1. 属性等、基本情報

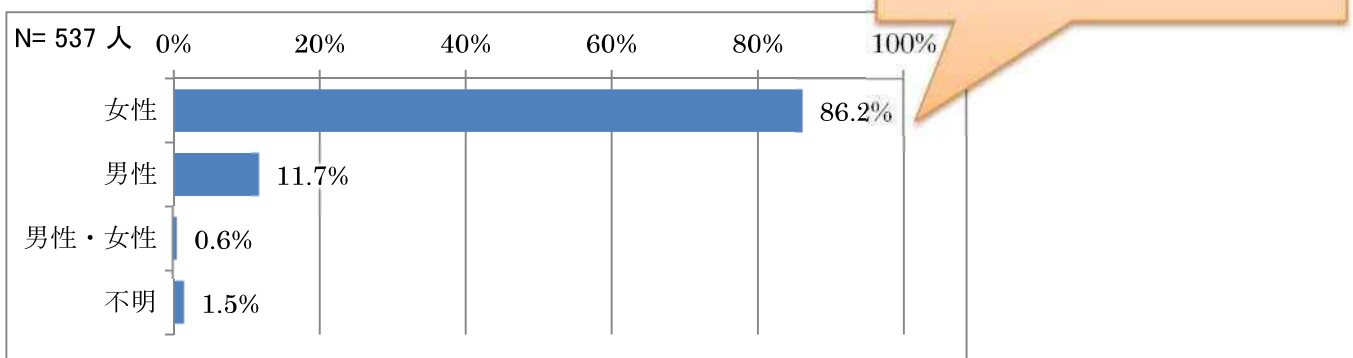
① 調査別回答者数

PTA協議会アンケート	64人	11.9%
子ども会連合会ヒアリング	10人	1.9%
子育てフェアさいわい	54人	10.1%
保護者アンケート	409人	76.2%
総計	537人	100.0%



② 性別回答者数

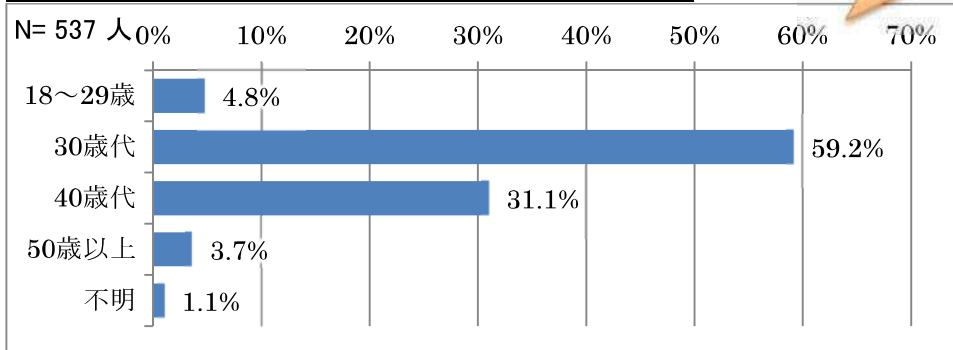
女性	463人	86.2%
男性	63人	11.7%
男性・女性	3人	0.6%
不明	8人	1.5%
総計	537人	100.0%



③ 年代別回答者数

18～29歳	26人	4.8%
30歳代	318人	59.2%
40歳代	167人	31.1%
50歳以上	20人	3.7%
不明	6人	1.1%
総計	537人	100.0%

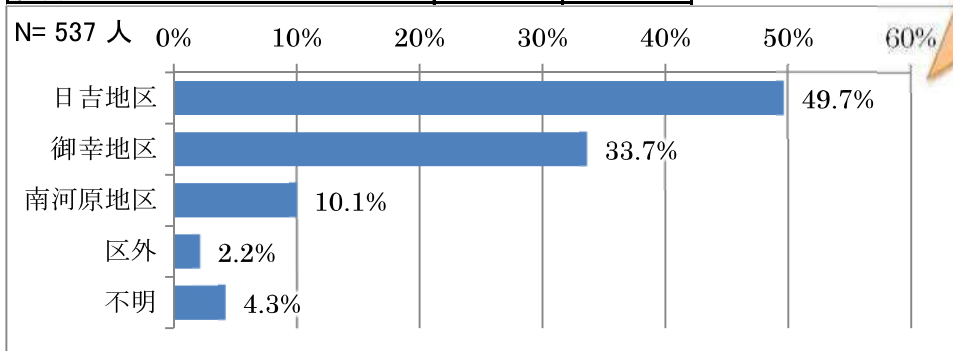
30～40歳代が多く、特に30歳代の回答が約6割を占めています。



④ 居住地区別回答者数

日吉地区	267人	49.7%
御幸地区	181人	33.7%
南河原地区	54人	10.1%
区外	12人	2.2%
不明	23人	4.3%
総計	537人	100.0%

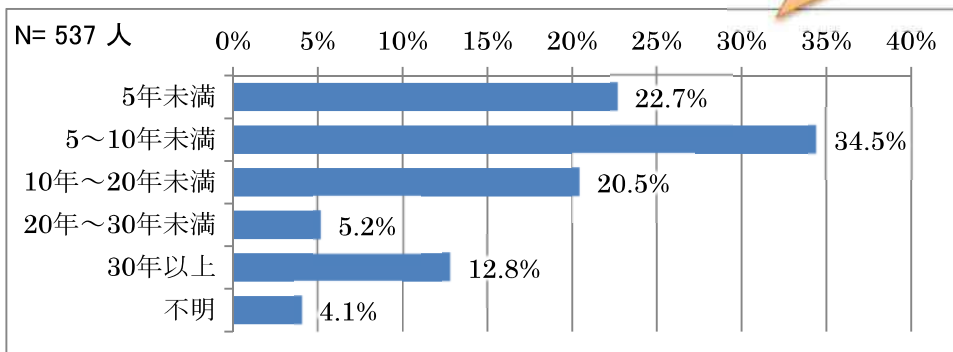
回答者数は居住地区によって回答者数の偏りがあり、日吉地区が回答の半数を占めていることは要注目です。



⑤ 居住歴別回答者数

5年未満	122人	22.7%
5～10年未満	185人	34.5%
10年～20年未満	110人	20.5%
20年～30年未満	28人	5.2%
30年以上	69人	12.8%
不明	22人	4.1%
総計	537人	100.0%

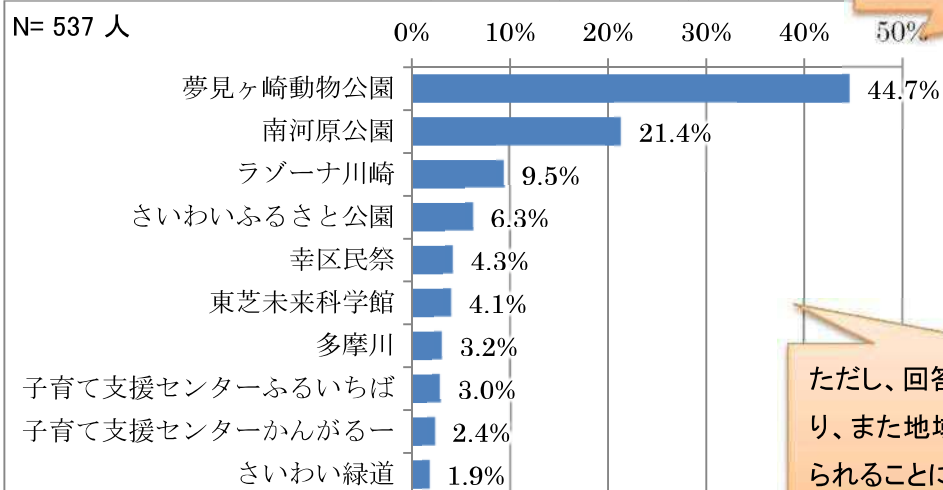
居住歴の短い回答者が多く、10年未満の人が過半数を占めています。



2. 魅力的なスポット、活動等 上位 10 件

上位 10 件

夢見ヶ崎動物公園	240人	44.7%
南河原公園	115人	21.4%
ラゾーナ川崎	51人	9.5%
さいわいふるさと公園	34人	6.3%
幸区民祭	23人	4.3%
東芝未来科学館	22人	4.1%
多摩川	17人	3.2%
子育て支援センターふるいちば	16人	3.0%
子育て支援センターかんがるー	13人	2.4%
さいわい緑道	10人	1.9%



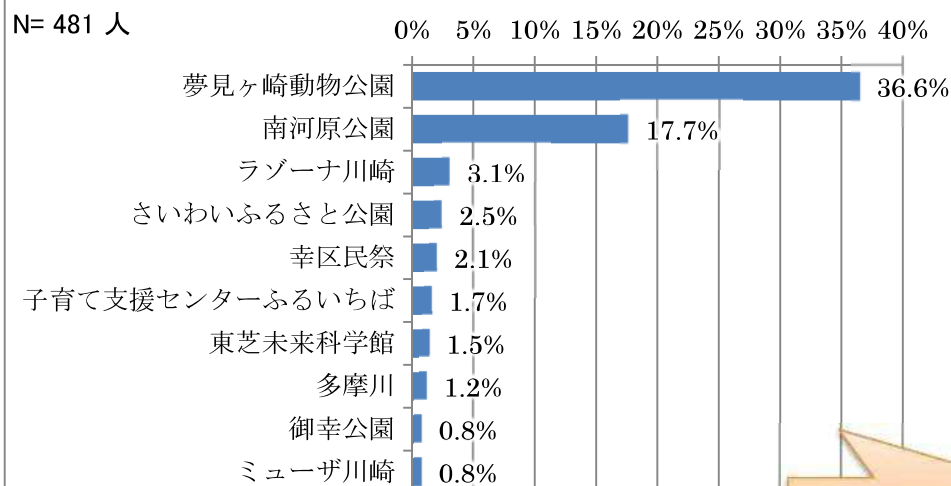
「夢見ヶ崎動物公園」が 44.7%で最も多く、続く「南河原公園」21.4%を大きく引き離しています。

ただし、回答者数には地域的な偏りがあり、また地域によって明らかな特徴が見られることに注意が必要です。

※ 次ページ参照。

《参考》ターゲット層（30・40歳代）に限定した上位 10 件

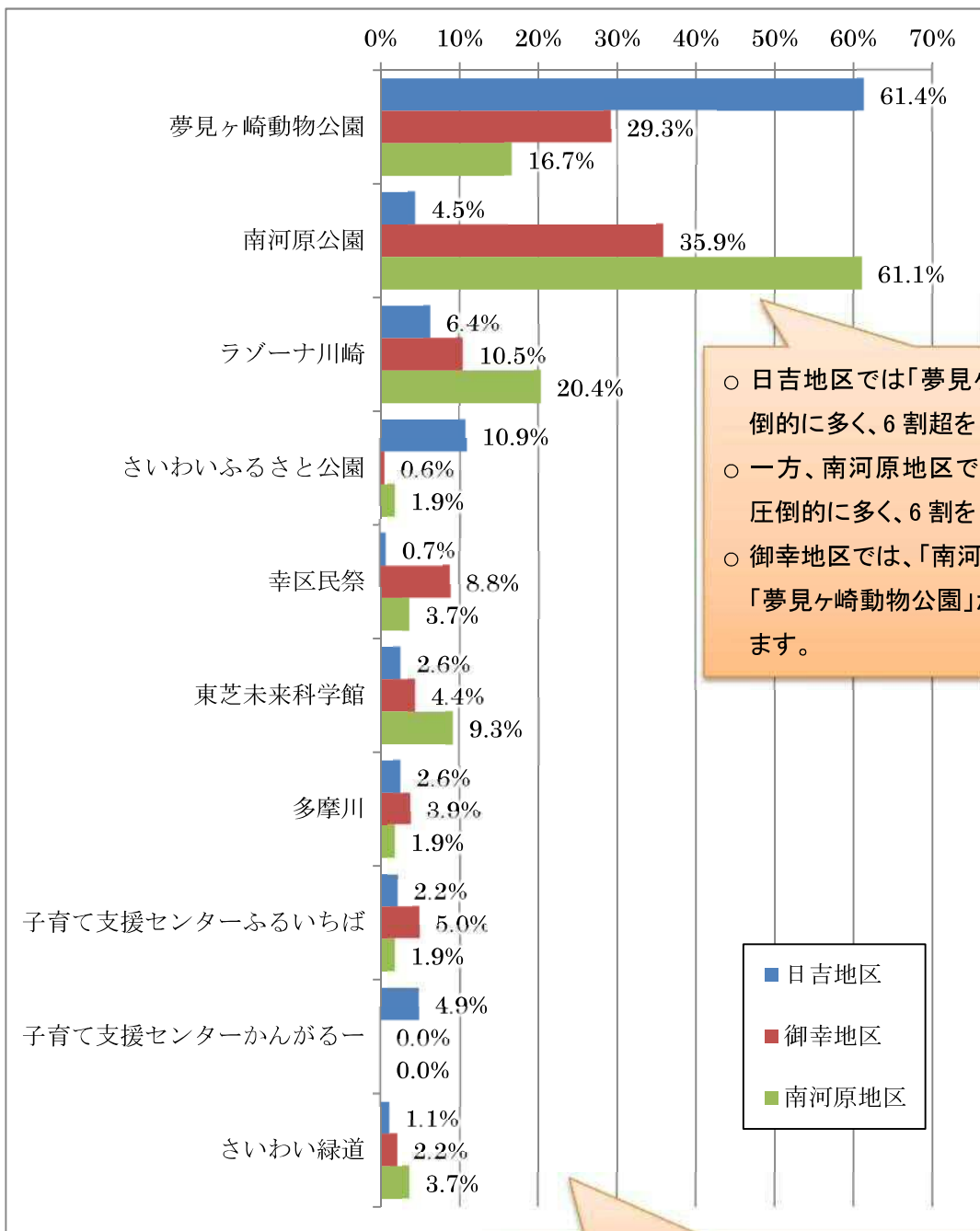
夢見ヶ崎動物公園	176人	36.6%
南河原公園	85人	17.7%
ラゾーナ川崎	15人	3.1%
さいわいふるさと公園	12人	2.5%
幸区民祭	10人	2.1%
子育て支援センターふるいちば	8人	1.7%
東芝未来科学館	7人	1.5%
多摩川	6人	1.2%
御幸公園	4人	0.8%
ミュージア川崎	4人	0.8%



上記と概ね同様の傾向となっています。

上位 10 件 地区別表示

	日吉地区	御幸地区	南河原地区	区外
夢見ヶ崎動物公園	61.4%	29.3%	16.7%	44.7%
南河原公園	4.5%	35.9%	61.1%	21.4%
ラゾーナ川崎	6.4%	10.5%	20.4%	9.5%
さいわいふるさと公園	10.9%	0.6%	1.9%	6.3%
幸区民祭	0.7%	8.8%	3.7%	4.3%
東芝未来科学館	2.6%	4.4%	9.3%	4.1%
多摩川	2.6%	3.9%	1.9%	3.2%
子育て支援センターふるいちば	2.2%	5.0%	1.9%	3.0%
子育て支援センターかんがるー	4.9%	0.0%	0.0%	2.4%
さいわい緑道	1.1%	2.2%	3.7%	1.9%



- 日吉地区では「夢見ヶ崎動物公園」が圧倒的に多く、6割超を占めています。
- 一方、南河原地区では「南河原公園」が圧倒的に多く、6割を占めています。
- 御幸地区では、「南河原公園」が35.9%、「夢見ヶ崎動物公園」が29.3%となっています。

他のスポットについては、基本的に回答者の居住地に近いスポットの回答数が多い傾向です。

3. 回答を分類した集計

各問に対する回答について、以下のように分類して集計しました。

問1 魅力的なスポット、活動等について

- ① 公園、緑地、緑道、自然
- ② 子育て支援センター、こども文化センター
- ③ その他の子育て支援（子育て相談、コミュニティ、親子で憩える場、子どもが遊べるイベント・場所）
- ④ 地域のイベント、団体、（町内会）コミュニティ、交流の場
- ⑤ 商業施設、体験施設（ミュージアム、ラゾーナ、東芝、商店街等）
- ⑥ 公共施設等（図書館、スポーツセンター等）
- ⑦ その他

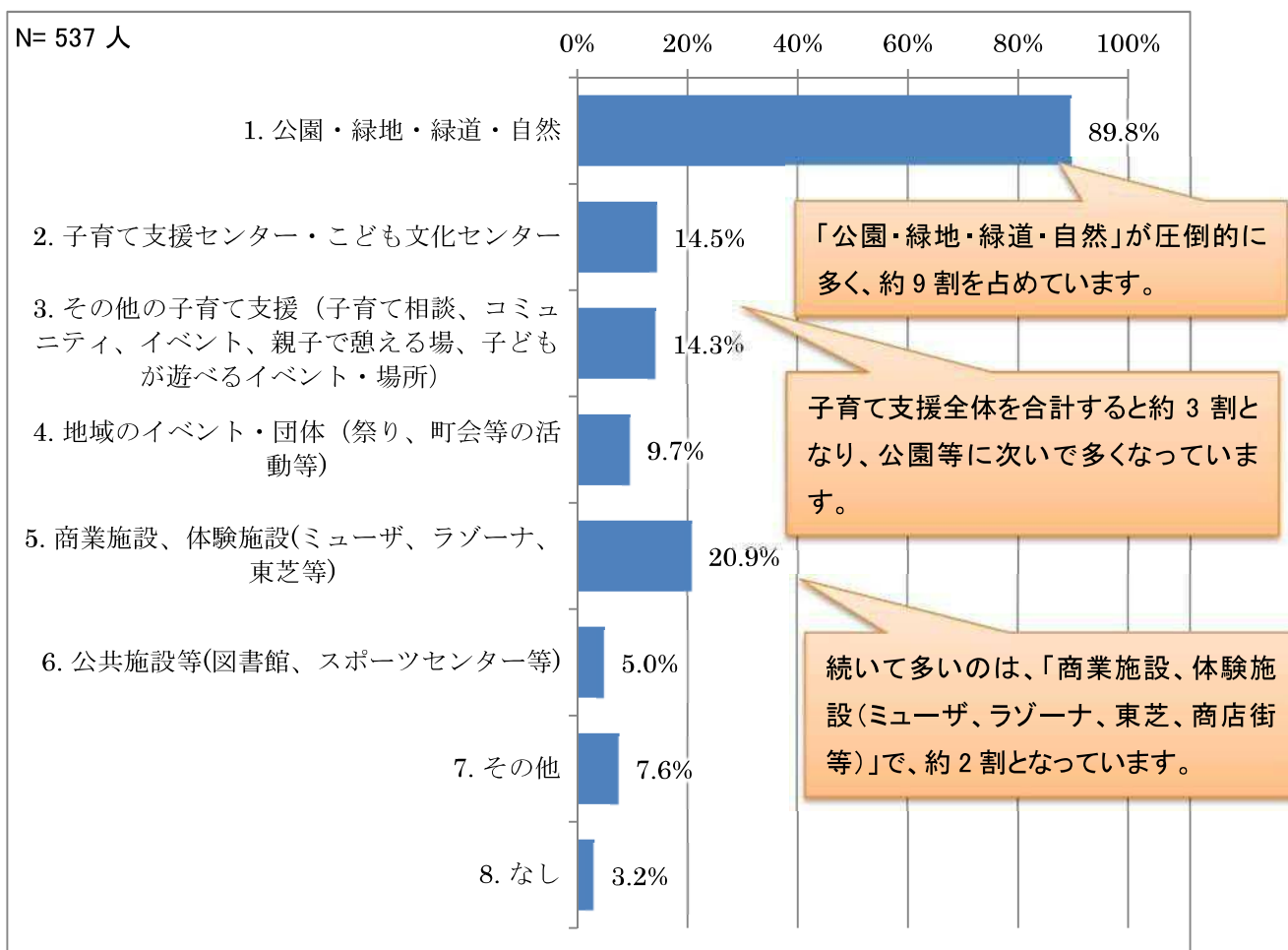
問3 「1」の回答以外にもより魅力的にするためのもの・こと

- ① 公園施設、利用用途の充実
- ② 子育て支援（保育園、医療の充実等）
- ③ 子どもが遊べる場（公園除く）
- ④ 交流の場（コミュニティ、カフェなどの憩える場）
- ⑤ 交通、道路の改善、充実
- ⑥ 商業、イベント全般、体験（芸術や科学体験など）
- ⑦ 区のイメージアップ
- ⑧ その他

問1 魅力的なスポット、活動等について

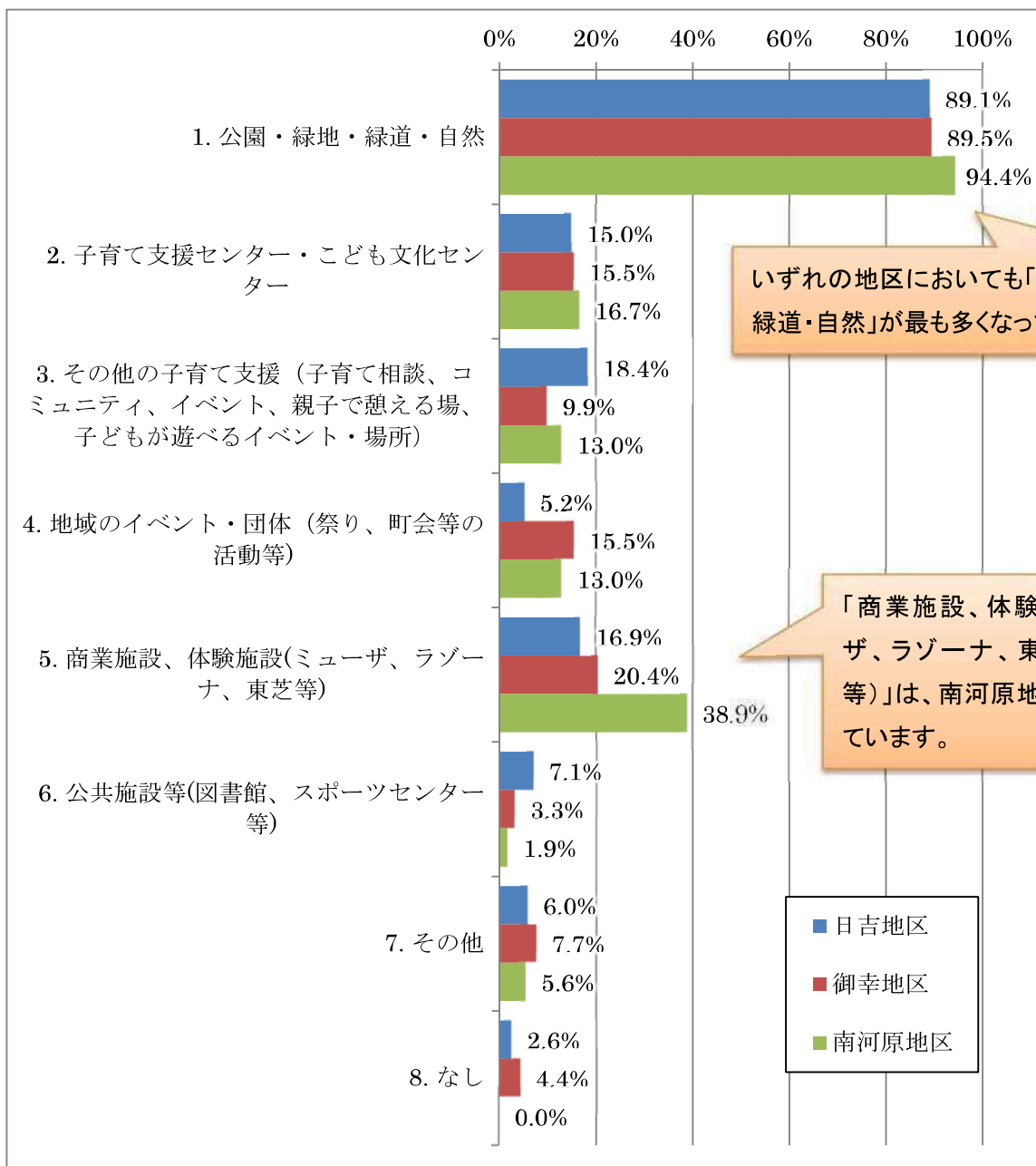
魅力スポット・活動：分類別集計

1. 公園・緑地・緑道・自然	482人	89.8%
2. 子育て支援センター・こども文化センター	78人	14.5%
3. その他の子育て支援(子育て相談、コミュニティ、イベント、親子で憩える場、子どもが遊べるイベント・場所)	77人	14.3%
4. 地域のイベント・団体(祭り、町会等の活動等)	52人	9.7%
5. 商業施設、体験施設(ミュージア、ラゾーナ、東芝等)	112人	20.9%
6. 公共施設等(図書館、スポーツセンター等)	27人	5.0%
7. その他	41人	7.6%
8. なし	17人	3.2%



魅力スポット・活動：分類別集計－地区別表示

	日吉地区	御幸地区	南河原地区
1. 公園・緑地・緑道・自然	89.1%	89.5%	94.4%
2. 子育て支援センター・こども文化センター	15.0%	15.5%	16.7%
3. その他の子育て支援(子育て相談、コミュニティ、イベント、親子で憩える場、子どもが遊べるイベント・場所)	18.4%	9.9%	13.0%
4. 地域のイベント・団体(祭り、町会等の活動等)	5.2%	15.5%	13.0%
5. 商業施設、体験施設(ミュージア、ラゾーナ、東芝等)	16.9%	20.4%	38.9%
6. 公共施設等(図書館、スポーツセンター等)	7.1%	3.3%	1.9%
7. その他	6.0%	7.7%	5.6%
8. なし	2.6%	4.4%	0.0%



「子どもが遊べる」ということが重要視されていると言えます。

問2 お気に入りの理由

① 公園、緑地、緑道、自然

【動物に関する意見：165件（「① 公園、緑地、緑道、自然」に関する回答の30.2%）】

- 広い公園と動物園があり、子どもたちが喜ぶので（夢見ヶ崎動物公園）
- 動物もいる公園で遊具もあり広場もあり、親子で1日楽しめるから。（夢見ヶ崎動物公園）

【無料に関する意見：131件（「① 公園、緑地、緑道、自然」に関する回答の24.0%）】

- 無料、身近に動物が見れる、子供がペンギンが好きで距離が近い、子供の目線に水槽がありペンギンが泳いでいるところを並走できる（夢見ヶ崎動物公園）
- 無料の動物園とアスレチックがありピクニックもできます！（夢見ヶ崎動物公園）

【広さに関する意見：129件（「① 公園、緑地、緑道、自然」に関する回答の23.6%）】

- 公園が広く、子どもが遊べる（南河原公園）
- 無料でたくさんの動物が見られるし、アスレチックのような遊具のほか、子供が走り回れる広場もあってとても良いと思います。（夢見ヶ崎動物公園）

【自然に関する意見：120件（「① 公園、緑地、緑道、自然」に関する回答の22.0%）】

- 自然そのままの雰囲気です。「作られた公園」というのではない、自由に遊べてボール遊びもできる（さいわいふるさと公園）
- 広い敷地内に沢山の自然があり、また動物にも触れることが出来るため。特に動物園まつりは子どもが楽しめる企画があり、とても良い。（夢見ヶ崎動物公園）

子育ての相談・交流についての意見が多数を占めています（② 及び③）

② 子育て支援センター、こども文化センター

【相談・交流に関する意見：22件（②に関する回答の26.2%）】

- 家から近く、園庭があり、先生もやさしく、常に人が集まっているので仕事に復帰するまでの期間、色々と情報が得られてよかった。
- 近所に知り合いがいなかったが、かんがる一で同世代の子どもを持つ、他のママさんたちと交流を持てたことで、育児の悩みを相談できた。

【イベントに関する意見：16件（②に関する回答の19.0%）】

- 子文は赤ちゃんの遊び場などあり交流の場となりよかったです。イベントも他の子どもやお母さんを知り合える場となりよかったです。
- 他の地域で、あかちゃんイベントやママイベントは有料でやっているが、区で無料で参加できるイベントが充実していたのでよかった。

【おもちゃが充実していることに関する意見：13件（②に関する回答の15.5%）】

- 建物内も広くて使いやすく、遊びのおもちゃがたくさんあってよく利用していました。
- 気軽に利用できる。赤ちゃんのころはコミュニティも少なく、おもちゃもたくさんあり助かった

③ その他の子育て支援（子育て相談、コミュニティ、親子で憩える場、子どもが遊べるイベント・場所）

【乳幼児の相談・交流に関する意見：30件（③に関する回答の36.6%）】

- 赤ちゃん相談はあまり知らない土地で初めて子供を産んで友達や知り合いが作れてその後保育園で一緒になり仲良くしている友達ができた。（原町会館の赤ちゃん相談）

- 生後半年の子どもを連れて地域交流ができる（しゃんぐりら子育てサロン）

【イベントに関する意見：11件（◎に関する回答の13.4%）】

- イベントをやっていて、楽しみながら科学に触れることができる（新川崎タウンカフェ）
- 年に数回イベントがあり、子どもが参加できるワークショップなどがある（ハッピーサークル）

④ 地域のイベント、団体、（町内会）コミュニティ、交流の場

【子育て世帯へのやさしさに関する意見：11件（◎に関する回答の23.4%）】

- 子どもも喜べるイベント（地震体験者、ふわふわ）（幸区民祭）
- 大人も子どもも楽しめる（町内の運動会）

【地域とのつながりに関する意見：10件（◎に関する回答の21.3%）】

- 町内会のスポーツクラブの人達や地域の人達がとても活気づいていたし、値段もリーズナブルで引っ越してきた方々も行きやすいし、交流の場にもなると思います。（町内会のお祭り）
- 地域と保護者と子どもと一体となって活動している（リバーFC（サッカー））

以下の項目についても子どもの遊び場や子育て世代の交流等、子育て世帯へのやさしさに関する意見が多くなっています。

⑤ 商業施設、体験施設（ミュージア、ラゾーナ、東芝、商店街等）

【子ども・子育て世帯へのやさしさに関する意見：41件（◎に関する回答の38.7%）】

- 子連れでオーケストラを楽しめる機会が、子どもの年齢が小さいとなかなかできないため（ミュージア川崎）
- 子供用品や普段の買い物、洋服等なんでもそろい、子連れにもうれしい授乳室などの設備もしっかりしているので。（ラゾーナ川崎）

【買い物利便性に関する意見：23件（◎に関する回答の21.7%）】

- 駅前、ラゾーナだけでなく、商店街、おいしい食べ物屋さんが多い
- 駅直結の大型商業施設で何でもそろう（ラゾーナ川崎）

【無料に関する意見：17件（◎に関する回答の16.0%）】

- 無料で半日天候気にせず遊べる。交通のアクセスもとても良い（東芝未来科学館）
- ミニコンサート等の無料の音楽イベント（ミュージア川崎）

⑥ 公共施設等（図書館、スポーツセンター等）

- 噴水... 夏の水遊び。あまり人が多くなく、きれいで広いため（加瀬水処理センター）《4件》
- 無料で利用でき子供が小さいときはとてもいい場所（図書館）
- 子育て世代への情報が多く集まっている。図書館も色々なジャンルが一通り揃っている（日吉分館）
- 安い費用でジムに通える（幸スポーツセンター）

⑦ その他

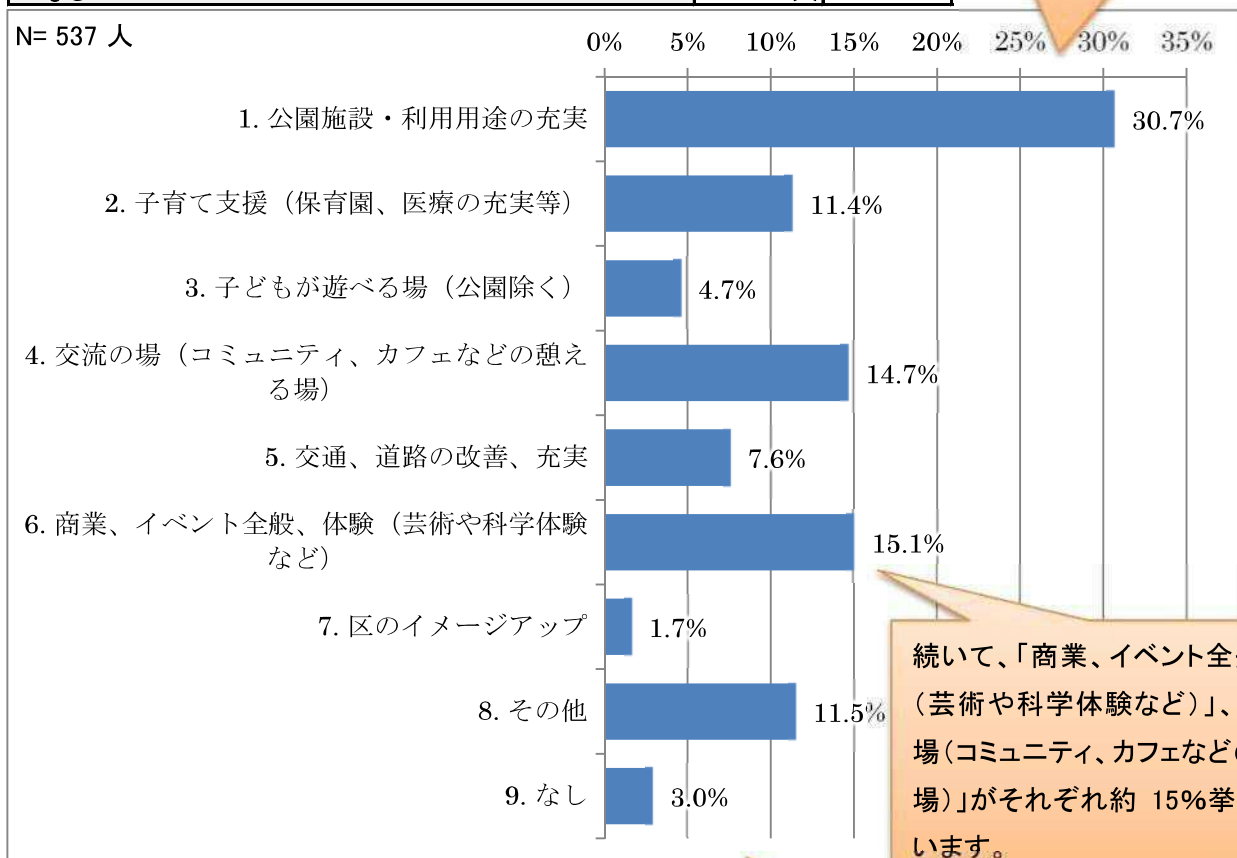
- 様々な電車が見られる操車場があるため（新川崎駅）
- ペDESTリアンデッキや歩行者専用道路があり、子どもを連れて散歩しやすい。電車が見えるのも◎（新川崎駅～鹿島田駅周辺）
- 子どもたちがボールで遊ぶ場所（河原町団地のグラウンド）
- 盆踊り、祭礼めぐりも楽しめるのでは。（夏季の盆踊りや祭礼がそこかしこで毎週開催されること）

問3 「1」の回答以外にもより魅力的にするためのもの・こと

より魅力的にするためのもの・こと：分類別集計

1. 公園施設・利用用途の充実	165人	30.7%
2. 子育て支援(保育園、医療の充実等)	61人	11.4%
3. 子どもが遊べる場(公園除く)	25人	4.7%
4. 交流の場(コミュニティ、カフェなどの憩える場)	79人	14.7%
5. 交通、道路の改善、充実	41人	7.6%
6. 商業、イベント全般、体験(芸術や科学体験など)	81人	15.1%
7. 区のイメージアップ	9人	1.7%
8. その他	62人	11.5%
9. なし	16人	3.0%

魅力的なスポットとして「公園・緑地・緑道・自然」が多く挙げられている一方、より魅力的にするためのものとしても公園に関することが挙げられています。

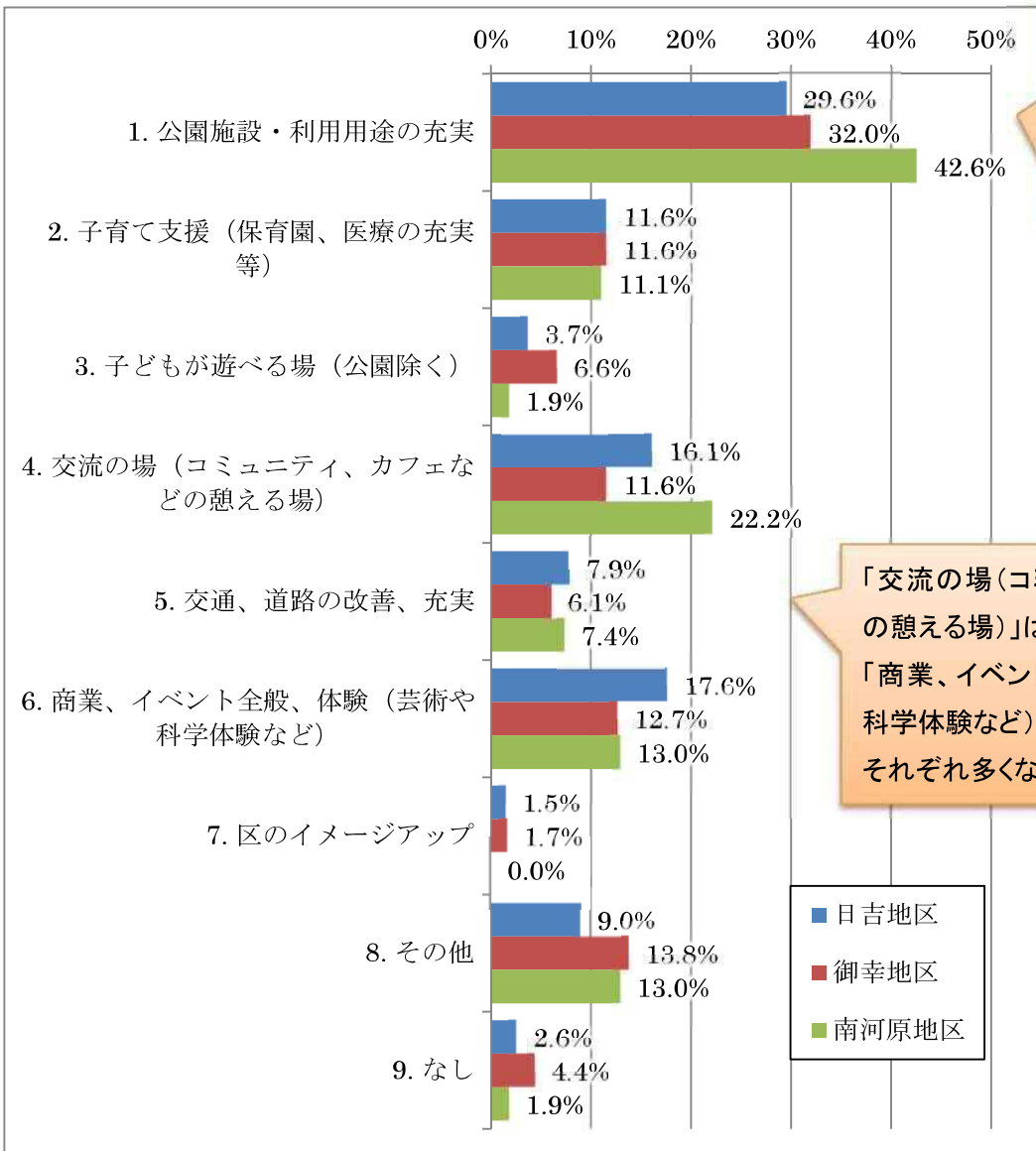


続いて、「商業、イベント全般、体験(芸術や科学体験など)」、「交流の場(コミュニティ、カフェなどの憩える場)」がそれぞれ約 15%挙げられています。

「魅力的なもの・こと」で上位に挙げられた項目が、「より魅力的にするためのもの・こと」でも上位に挙がっています。

より魅力的にするためのもの・こと：分類別集計－地区別表示

	日吉地区	御幸地区	南河原地区
1. 公園施設・利用用途の充実	29.6%	32.0%	42.6%
2. 子育て支援(保育園、医療の充実等)	11.6%	11.6%	11.1%
3. 子どもが遊べる場(公園除く)	3.7%	6.6%	1.9%
4. 交流の場(コミュニティ、カフェなどの憩える場)	16.1%	11.6%	22.2%
5. 交通、道路の改善、充実	7.9%	6.1%	7.4%
6. 商業、イベント全般、体験(芸術や科学体験など)	17.6%	12.7%	13.0%
7. 区のイメージアップ	1.5%	1.7%	0.0%
8. その他	9.0%	13.8%	13.0%
9. なし	2.6%	4.4%	1.9%



「公園施設、利用用途の充実」はいずれの地区でも最も多くなっている中、特に南河原地区で多くなっています。

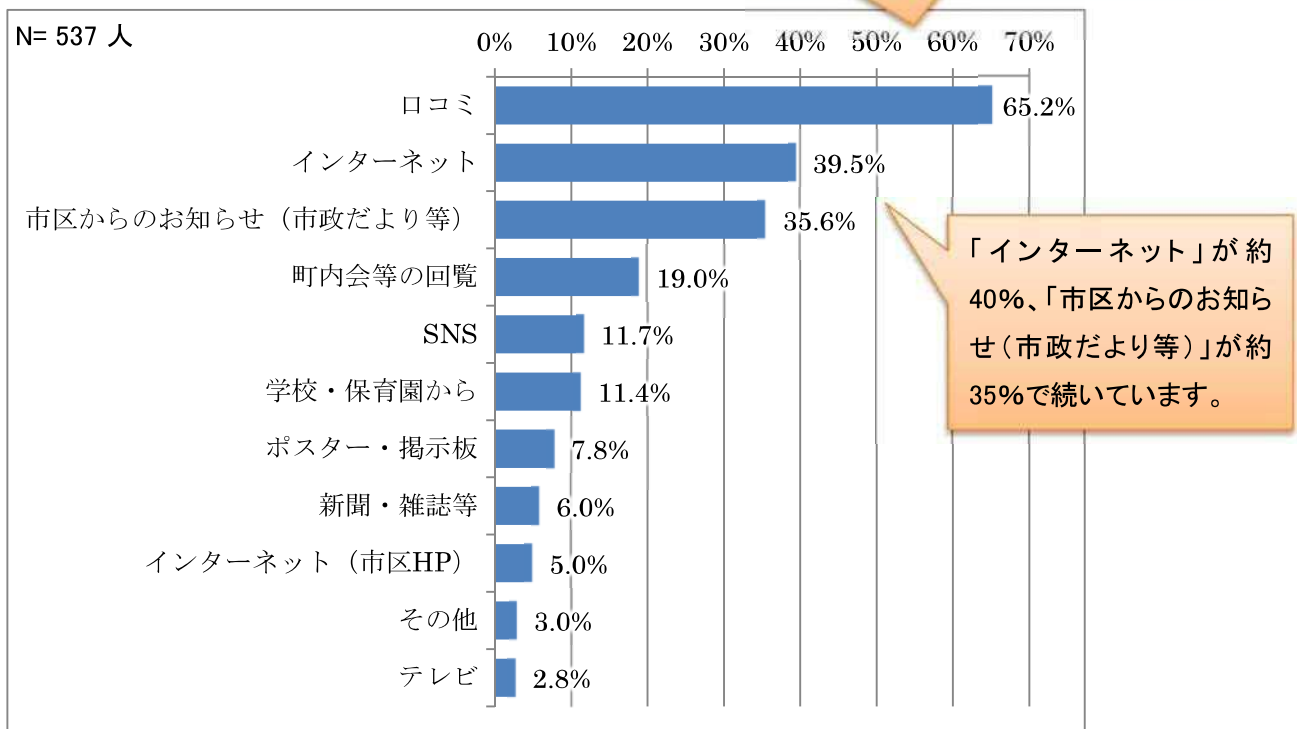
「交流の場(コミュニティ、カフェなどの憩える場)」は南河原地区で、「商業、イベント全般、体験(芸術や科学体験など)」は日吉地区で、それぞれ多くなっています。

問4 情報の取得手段（多い順に単純集計）

情報の取得手段：分類別集計

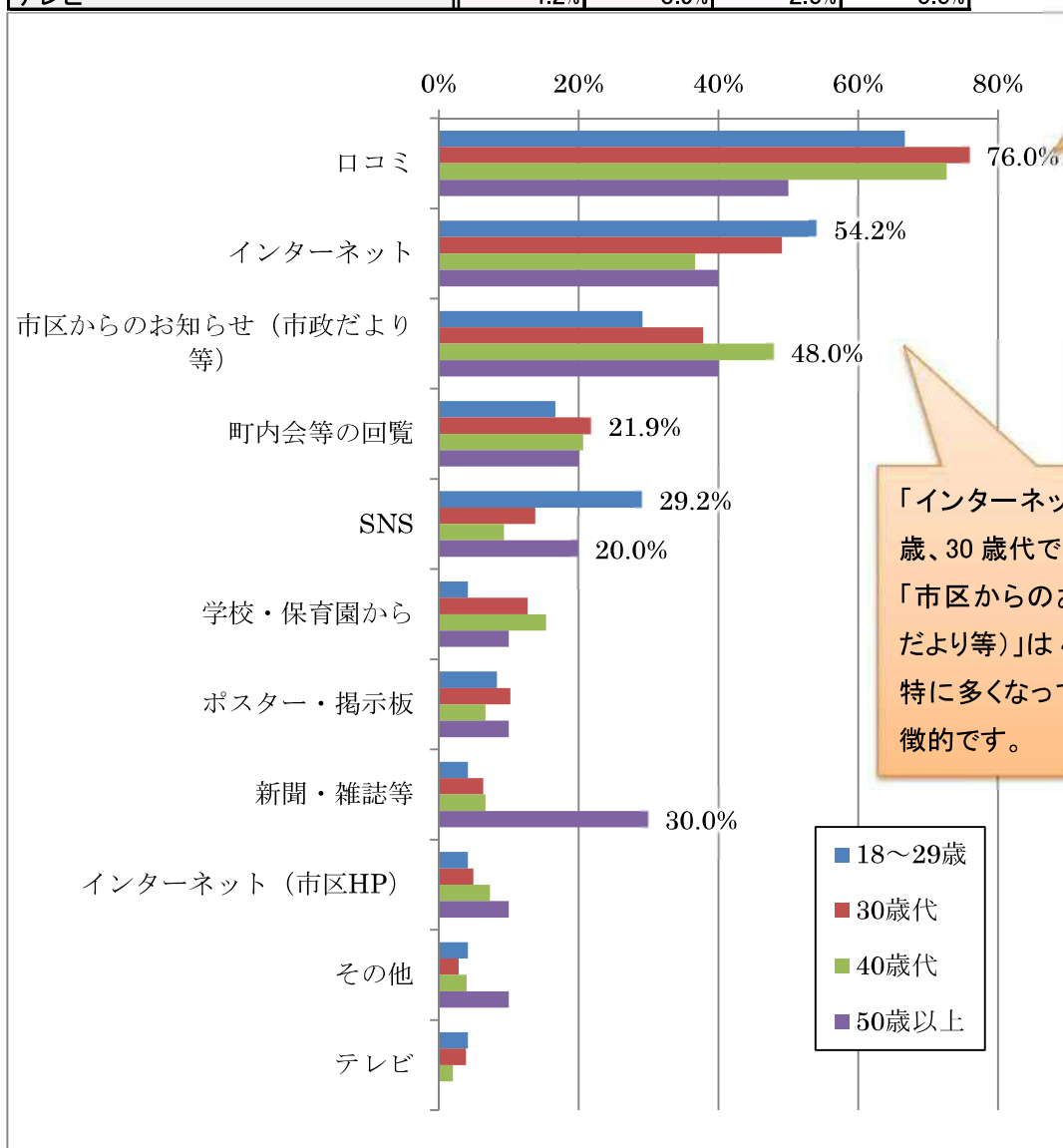
口コミ	350人	65.2%
インターネット	212人	39.5%
市区からのお知らせ(市政だより等)	191人	35.6%
町内会等の回覧	102人	19.0%
SNS	63人	11.7%
学校・保育園から	61人	11.4%
ポスター・掲示板	42人	7.8%
新聞・雑誌等	32人	6.0%
インターネット(市区HP)	27人	5.0%
その他	16人	3.0%
テレビ	15人	2.8%

「口コミ」が最も多く、約 2/3 を占めています。



情報の取得手段：分類別集計一年代別表示

	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳以上
口コミ	66.7%	76.0%	72.7%	50.0%
インターネット	54.2%	49.1%	36.7%	40.0%
市区からのお知らせ(市政だより等)	29.2%	37.8%	48.0%	40.0%
町内会等の回覧	16.7%	21.9%	20.7%	20.0%
SNS	29.2%	13.8%	9.3%	20.0%
学校・保育園から	4.2%	12.7%	15.3%	10.0%
ポスター・掲示板	8.3%	10.2%	6.7%	10.0%
新聞・雑誌等	4.2%	6.4%	6.7%	30.0%
インターネット(市区HP)	4.2%	4.9%	7.3%	10.0%
その他	4.2%	2.8%	4.0%	10.0%
テレビ	4.2%	3.9%	2.0%	0.0%



「口コミ」はいずれの年代でも最も多くなっています。

「インターネット」は18～29歳、30歳代で、「市区からのお知らせ(市政だより等)」は40歳代で特に多くなっていることが特徴的です。

■ 18～29歳
■ 30歳代
■ 40歳代
■ 50歳以上

アンケート結果 及び 発信する魅力の確認 について

ポイント

- ① アンケートの結果を理解する
- ② 発信する魅力とは何かを考える

Step.1 魅力発信のあり方（目的）を考える

(1) 目的とターゲット

魅力発信の目的	幸区に住み続けてもらうこと《第4回部会摘録より》 ※ このことが深まることにより、巡り巡って市外からの流入につながることを期待されます。（詳細は後述。）
主なターゲット	区内在住の、30・40代を中心とした子育て世代 （30、40代にPRすることにより、親世代にも広がることを期待できます）《第3回部会摘録より》

(2) 目的の達成のために

- 「幸区に住み続けてもらう」ために、今後は次のことを検討する必要があると考えられます。

- ① **発信する魅力の明確化**（何を発信するか）
- ② **発信方法の検討**（どうやって発信するか）
- ③ **発信する主体の検討**（誰が発信するか）

Step.2 アンケートの結果を理解する

ポイント①

(1) アンケートの結果の整理

- 子育て世帯にとっての幸区の魅力として、「**公園・緑地・緑道・自然**」が非常に高く評価されています。
 - ⇒ 地区別に詳細をみると、日吉地区では特に**夢見ヶ崎動物公園**が、南河原地区では特に**南河原公園**が、御幸地区では両公園が概ね同程度ずつ評価されています。
 - ⇒ 「より魅力的にするためのもの・こと」においても「**公園施設・利用用途の充実**」が最も多く、区民による公園への関心の大きさがうかがわれます。
- この結果を頭す魅力要素としては、「**動物と触れ合える**」、「**無料で楽しめる**」、「**自然に触れられる**」、「**適度な広さがある**」ことなどがあげられます。
- 情報の取得手段では「**口コミ**」が最も多く、続く「**インターネット**」や「**市区からのお知らせ（市政だより等）**」と差をつけています。
 - ⇒ いずれの年代でも「**口コミ**」が最も多く、続いては、18～29歳、30歳代で「**インターネット**」が、40歳代では「**市区からのお知らせ（市政だより等）**」が多くなっています。

(2) アンケート結果から見られる、ターゲット層における幸区の魅力

- アンケート調査の結果によれば、ターゲット層（30・40代を中心とした子育て世代）における幸区の魅力は以下のように整理することができます。

ターゲット層における幸区の魅力	夢見ヶ崎動物公園、南河原公園を始めとする、 公園・緑地・緑道・自然
魅力の要素 (上記がなぜ魅力的なのか)	<ul style="list-style-type: none">・ 動物と触れ合えること・ 無料で楽しめること・ 自然に触れられること・ 適度な広さがあること <p>子育て世帯にとって重要なポイント</p>

- 今後の検討のため、実際に夢見ヶ崎動物公園や南河原公園などへ行き、魅力や魅力要素について確認してることが考えられます。

Step.3 過去の議論を振り返る

(1) 前回部会（4/25 開催）の議論ででた魅力

夢見ヶ崎動物公園や南河原公園

- 報告だと**夢見ヶ崎公園**や**南河原公園**という公園があることが子育て世代にとってメリットであるのかもしれない。実際にこの部会でこういう情報発信をしていくのもいいのかもしれない。

情報を交換できるという魅力

- 赤ちゃん相談をやっている間に母親たちの**情報交換の場所に集まっていただけ**の何かがあればいいのかなと思う。場所的なものではなく、**情報を交換できるという魅力**も必要なのかなというのが課題だと思う。

ラゾーナ川崎、ミュージア川崎、東芝未来科学館

- 利便性の強みを生かしてレジャー、音楽、科学とエンターテインメント面から西口の**ラゾーナ川崎、ミュージア川崎、東芝未来科学館**を3点セットとして前面に打ち出したPRもいいのではないかな。

子育て支援センター（かんがるー）

- **子育て支援センター**、特に**かんがるー**に魅力を感じた。子育て支援センターを中核にして、こども文化センター、市営保育園との連携できめ細かい対応が出来るのではないかな。

(2) 過去の部会ででたその他の魅力（キーワード）

コンパクトさ 狭い範囲に商業や医療等、いろいろなものが揃っていて**便利**。一つひとつの魅力が弱くても、**狭い範囲にお金のかからない**“テーマパーク”があるのが大きな魅力だと思う。

利便性 「利便性」が住みやすい**評価の一番大きな理由**になっている。

子育て環境 子育て世帯が増えたことにより、**子育てサロン**が増えている。また、ヒアリングで**子育て支援センター**が意外と多かったのでも活用したい。なお、**こども文化センター**という回答は少なかったが、活用していくべきだ。

安全・安心 **治安**が良い。また、保護司会の**保護観察対象者**が市内で一番少ない。

ポイント

- ◎ 魅力発信方法の考え方について共有した上で、今後の調査を考える

Step.1 魅力発信方法の考え方(「川崎市シティプロモーション戦略プラン」について)

基本方針

- ◎ 川崎は、個々に特色のある地域、また市民・事業者等による多種多様な取組や活動の集合体であるからこそ、多面性のある魅力的なまちとなっており、この特徴を活かす。
- ◎ 各地域の市民が“自分たちのまちとはどのようなまちか”と“川崎とはどのようなまちか”の両方を認識し、語れるようになる。
- ◎ 魅力発信は市内向け/市外向けともに重要であり、行政、市民、企業、団体など多様な主体が、それぞれの活動の特徴を活かした発信を行うとともに、相互が連携して実施する。

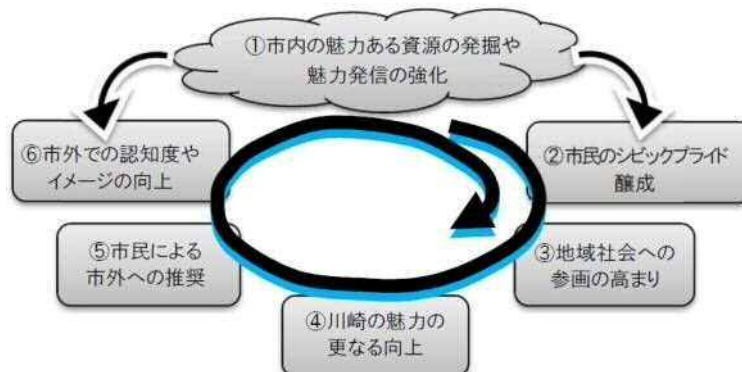
目標

目標1 市民の「川崎への愛着・誇り（シビックプライド）」の醸成

- ◎ 川崎の多彩な魅力・地域資源を更に多くの市民に知ってもらい、これらの浸透を促進させることによって、市民の「川崎への愛着・誇り（シビックプライド）」の醸成を目指します。
- ◎ また、愛着や誇りが醸成され、市民が自分のまちを市外に推奨することにより、「目標2 川崎の対外的な認知度やイメージの向上」につなげます。

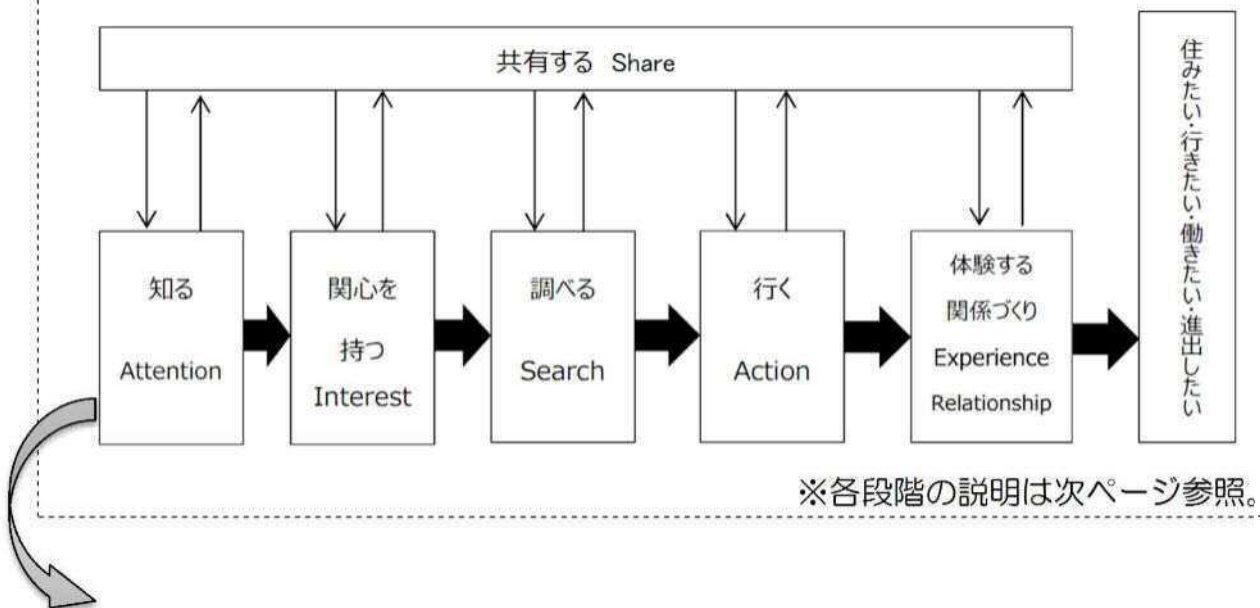
目標2 川崎の対外的な認知度やイメージの向上

- ◎ 魅力・地域資源の情報発信、市民による市外への推奨などにより、川崎の対外的な認知度やイメージを向上させ、市外における川崎ファンを獲得していきます。
- ◎ また、認知度やイメージが向上することが川崎市民にとっての自信へとつながり、「目標1 市民の『川崎への愛着・誇り（シビックプライド）』の醸成」がより促進されることを目指します。



情報の受け手の段階に応じた情報発信(コミュニケーション戦略)

- 人々の行動パターンは、「情報を知る」→「関心を持つ」→「調べる」→「実際に行く」→「体験する」といった段階を経て変容していくこととなります。
- 下図は、電通 abic project(2009)で提唱されている、「AISAS」(アイサス：Attention, Interest, Search, Action, Share)に、「体験 (Experience)」及び「関係づくり (Relationship)」を加えたモデルです。
- 「川崎市シティプロモーション戦略プラン」では、このモデルを示した上で、魅力情報を発信していく際に、**どの段階で、どの手段を用いるのか**が重要であるとしています。



例) アンケート結果との照合

○先ほどのアンケート結果からは、

- 子育て世帯の方々が、
- 実際に「行く (Action)」又は「体験する (Experience)」の段階を経た方々からの口コミ＝「共有する (Share)」を受け、
- 「知る (Attention)」又は「関心を持つ (Interest)」の段階になり、
- そして実際に行き、体験した上で (特に公園等を) 高く評価している

という様子が推察されます。

■知る (Attention)

- ・幸区の魅力を多くの対象の人々に認知してもらう必要があります。このためには、どうすれば良いかを考える必要があります。（話題性が必要と言われています）

■関心を持つ (Interest)

- ・認知を獲得した後は、その情報に対して関心を持ってもらう、つまりその情報が自分に関係があると認識してもらうこと（当事者化）が必要です。
- ・このため、その魅力が自分と関係があると思ってもらうためには、どうすれば良いかを考える必要があります。

■調べる (Search)

- ・関心を持つようになった人々に対しては、得たい情報、関心を持った情報の詳細を確実に入手できるようにしておくことが必要です。
- ・このため、知りたい情報を得やすくする方法を考える必要があります。

■行く (Action)

- ・得たい情報、関心を持った情報にたどり着いた人々に対しては、行動へと促していくことが必要です。
- ・ハードルが高いとなかなか足が向かないので、ハードルを下げ行きやすくするための方法を考える必要があります。

■体験する (Experience)・関係づくり (Relationship)

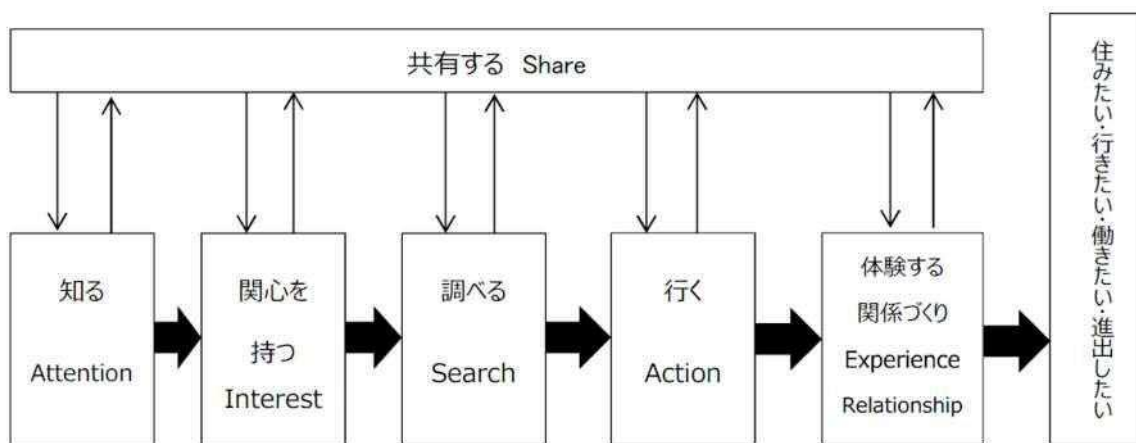
- ・行動を起こした人々にはいかに幸区の魅力・地域資源を体験してもらうかが重要です。
- ・その体験が印象的・感動的であるほど、価値が高まり、リピーターを作り出します。
- ・その結果、体験した人々と地域との良い関係性が構築されます。
- ・このようなことから、どのようなことで、体験や関係づくりが促せるかを考える必要があります。

■共有 (Share)

- ・さらに広げるためには、いかに各段階での情報を人々に共有してもらうかが重要になります。
- ・このため、上記の情報を共有する仕組みを検討する必要があります。

Step.2 魅力発信方法の検討

○前述のように、「川崎市シティプロモーション戦略プラン」によれば、「AISASに体験・関係づくりを加えたモデル」のうち、「どの段階で」「どの手段を用いるのか」が重要であることをみました。



○区民会議ですべての段階を対象とすることは困難であることから、**対象を一定の段階に絞った上で、魅力発信の方法・魅力の浸透方法等を検討することが現実的と考えられます。**

考え方の例)

- ・ 夢見ヶ崎動物公園は多くの人々に知られている（Attention）ものの、「動物と触れ合えること」、「無料で楽しめること」、「自然に触れられること」、「適度な広さがあること」などが知られておらず、「関心をもつ（Interest）」に至っていないのではないか。

⇒ 「関心を持つ（Interest）」の段階に絞って、効果的な方法等を考える。

例)「動物」「無料」「自然」「広さ」を全面に打ち出したチラシ・ポスターを作成し、配布・掲示する、など

○また、アンケート調査の結果では、情報の取得手段では「口コミ」が最も多く、続く「インターネット」や「市区からのお知らせ（市政だより等）」と差をつけていました。つまり、上図でいう「共有する(Share)」が最も有効であるという結果となっています。

⇒ 「行く」や「体験する・関係づくり」の段階を中心として、如何に「共有」してもらうか（口コミを広げてもらうか）が重要と言えます。

Step.3 今後の検討の流れ(案)

公園等の現地調査？（夢見ヶ崎動物公園、南河原公園等）

- アンケート調査で非常に高く評価されている「公園・緑地・緑道・自然」（特に夢見ヶ崎動物公園、南河原公園）に赴き、**ターゲット層にとっての魅力を確認・体感**してくることが考えられます。



発信方法の検討

- 受け手の「段階」を意識した発信方法・魅力浸透方法を検討します。
- 検討にあたっては、市民主体もしくは市民と行政の協働で実施できるものか否かに着目します。



発信する主体の検討

- 誰が魅力発信を行うのかについて検討します。

今後の調査について

資料5-1

1 これまでの振り返り

(1) これまで行った調査

調査日	調査先	主な回答者層	調査方法
平成 29 年 2 月 25 日 (土)	子育てフェアさいわい (日吉合同庁舎)	乳幼児の保護者 (日吉 地区在住者が主)	ボードを使いヒアリング
平成 29 年 2 月 20 日 (月) ～3 月 7 日 (火)	保育園に通う園児の保 護者	乳幼児の保護者	アンケート
平成 29 年 2 月 27 日 (月) ～3 月 13 日 (月)	学齢期の保護者	学齢期の保護者 (日吉 地区在住者)	アンケート
平成 29 年 3 月 15 日 (水) ～4 月 19 日 (水)	幸区 PTA 協議会	小中学生の保護者	アンケート
平成 29 年 3 月 22 日 (水)	幸区子ども会連合会	小中学生の保護者	ボードを使いヒアリング

(2) 第 6 回部会で出た意見

- ・アンケートから出るものについては出尽くしたと思っている。これ以上やっても数の多い少ないだけであって、新しい場所は出てこないのではないかと思う。
- ・今後の調査について、一つは対象を広げるかという課題があるが、今回は子育て世代にターゲットを絞ったので、これ以上は広げないでよいのではないか。
- ・重要な所は魅力の掘り下げだが、「公園の魅力度アップ」、もう一つは「子育て支援の整備、充実」。この二点にフォーカスして掘り下げたらどうか。
- ・これ以上のアンケート調査等は不要であり、今後は現地に実際に行ってまとめていくという形ではどうか。

2 これからの調査について

- ・何に対象を絞って調査をするか
(調査対象例：夢見ヶ崎公園・南河原公園等の大規模公園、子育て支援施設・団体など)
- ・どのような調査方法で魅力の掘り下げを行うか
(例：魅力としてあがってきたスポットや活動の現地調査など)

調査対象	調査方法
(意見交換メモ)	(意見交換メモ)

現地調査概要（案）

1 調査の目的

現地で直接魅力を体感することにより、魅力となる地域資源についてのさらなる検証や今後の具体的な魅力発信方法の検討のための材料とする。

2 調査の視点

- ・ターゲット層にとって魅力となっているものは何か。
- ・より魅力的にするためには何が必要か。（足りないもの、補完できるものはないか。）
- ・魅力があるのに発信できていないものはあるか。

3 調査対象

- ・拠点公園及び拠点公園に近接する公園・緑道
 - ① 夢見ヶ崎動物公園、さいわいふるさと公園
 - ② 南河原公園、さいわい緑道
 - ③ 御幸公園、古市場コミュニティ道路

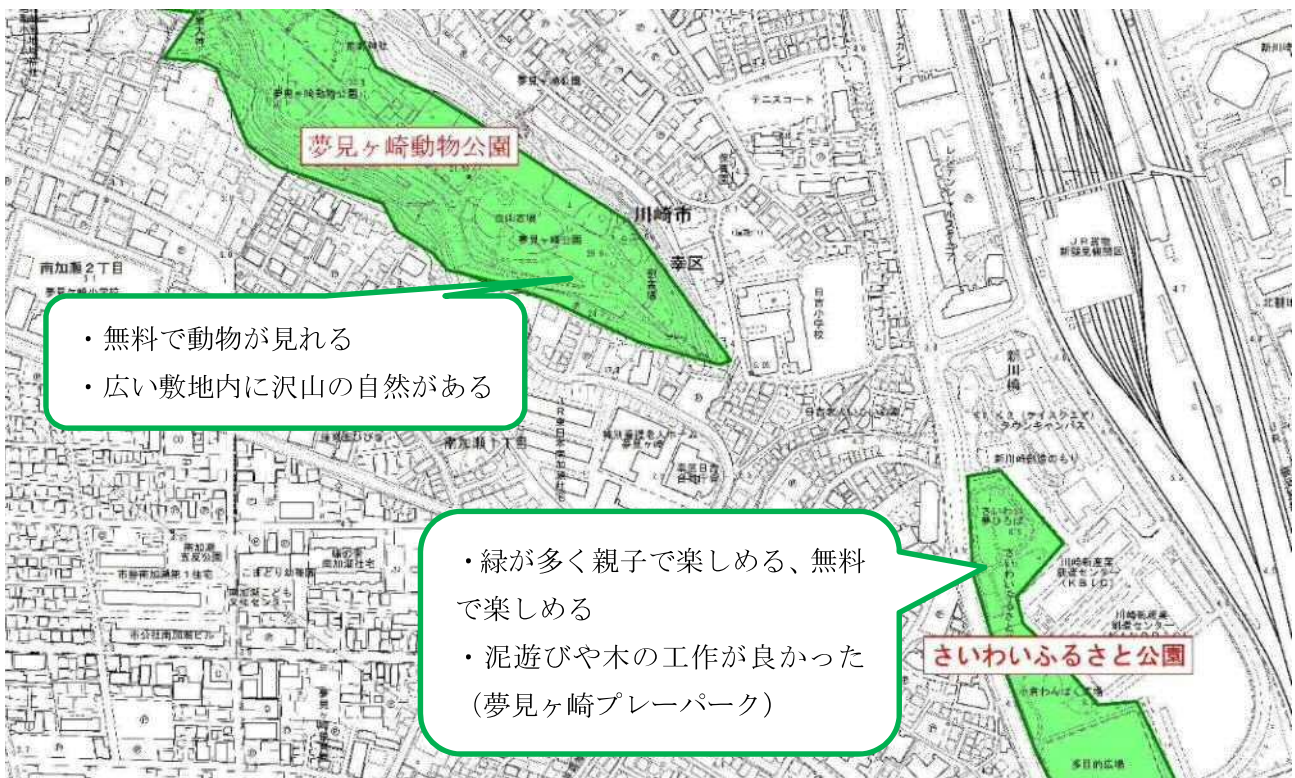
4 調査時期

平成29年5月～6月（第8回専門部会までに実施）

5 調査方法

現地を調査し、夢見ヶ崎動物公園職員、道路公園センター職員から、公園等の概要、魅力、実施事業、イベント等の説明を受ける。

① 夢見ヶ崎動物公園・さいわいふるさと公園



◎ 南河原公園・さいわい緑道



◎ 御幸公園・古市場コミュニティ道路



現地調査日程案

- 調査箇所（案）
- ① 夢見ヶ崎動物公園、さいわいふるさと公園
 - ② 南河原公園、さいわい緑道
 - ③ 御幸公園、古市場コミュニティ道路
 - ④ その他（子育て支援センター等）

調査日時	調査箇所	参加者
5月31日（水） 10：00～12：00		
6月9日（金） 14：00～16：00		
6月13日（火） 10：00～12：00		
6月14日（水） 10：00～12：00		
6月19日（月） 14：00～16：00		
6月20日（火） 10：00～12：00		
6月21日（水） 10：00～12：00		
7月 3日（月） 10：00～12：00		
7月11日（火） 10：00～12：00		
7月12日（水） 10：00～12：00		
7月14日（金） 14：00～16：00		
7月18日（火） 10：00～12：00		
7月19日（水） 14：00～16：00		

だい きさいわいくみんかいぎ すけじゅーる
 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて(2017(平成29)年4月20日時点)

	2016年度(平成28年度)										2017年度(平成29年度)										2018年度(平成30年度)		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4・5月
区民会議 (全体会議)	7/28 第1回				11/24 第2回				3/21 第3回						だい かい 第4回						だい かい 第5回		
企画運営 会議					11/15 第1回				3/14 第2回						だい かい 第3回						だい かい 第4回		
人にやさしい交通安全 全部会 (A 部会)	7/1 第6期幸区区民会議 任期開始 ○ 正副部会長の選出 ○ 審議テーマの選定 ○ 部会名の決定 ○ 取組の方向性の決定										○ 関係機関、現地 調査の実施 ○ 交通ルール・ マナークイズの実施 ○ 調査結果の 検証 ○ 実践的 取組 の検討 ○ 調査等を踏まえた実践的 取組 ○ 課題解決方法の検討 ○ 提言内容の検討、とり まとめ ○ フォーラム実施内容の 検討										報告書のとりまとめ 区長へ報告書の提出		
魅力発信でつなぐ まちの活性化部会 (B 部会)	10/5 第1回 10/27 第2回 ○ 正副部会長の選出 ○ 審議テーマの選定 ○ 部会名の決定 ○ 取組の方向性の決定										○ 地域資源の調査結果の 検証 ○ 魅力発信に向けた情報発信 手段の検討 ○ 発信していく地域の魅力に ついての確認 ○ 魅力発信の実践的取組 ○ 提言内容の検討、とり まとめ ○ フォーラム実施内容の 検討												
その他								2/6 交流会															

平成28年度まとめ

提言内容の決定
 第6期幸区区民会議フォーラムの実施

6/30
 第6期幸区区民会議
 任期終了

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第6回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年4月25日（火）18:30～20:00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民会議委員（50音順） 阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、神谷修委員（部会長）、佐野禎彦委員、高橋希委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ● 事務局 幸区役所 田村副区長、幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、山口係長、中村職員、安藤職員 (株) 社会空間研究所 田上氏、柳澤氏
欠席者	大野勝彦委員
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ● 資料2-1 アンケート調査報告「保育園等保護者アンケート全体まとめ」 ● 資料2-2 アンケート調査報告「保育園等保護者アンケート地区別まとめ」 ● 資料3 ヒアリング調査報告「幸区子ども会連合会」 ● 資料4-1 アンケート調査報告「幸区PTA協議会アンケート全体まとめ」 ● 資料4-2 アンケート調査報告「幸区PTA協議会アンケート地区別まとめ」 ● 資料5 地域資源の検証について ● 資料6 今後の調査について ● 参考資料1 第5回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ● 参考資料2 第3回全体会議会議録 ● 参考資料3 第6期幸区区民会議だより第3号 ● 参考資料4 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
議 題	<p>(1) アンケート調査等の報告について</p> <p>(2) 地域資源の検証について</p>

<p>決定事項</p>	<p>(1) アンケート調査等の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員からの提案を踏まえ、判断材料となるように傾向が分かるような資料として事務局が整理することとする。 <p>(2) 地域資源の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査は充分と判断し、今後は現地への調査を行うこととする。
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>(1) アンケート調査等の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より資料1から資料5について説明した。 ○ 資料1から資料4及び現地調査を行った委員からの報告により、アンケート及びヒアリング調査の結果について確認・共有した。 ○ 委員からの提案を踏まえ、判断材料となるように傾向が分かるような資料として事務局が整理することとする。 <p>(2) 地域資源の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より資料6について説明した。 ○ アンケート調査は充分と判断し、今後は現地への調査を行うこととする。 ○ 調査結果から夢見ヶ崎動物公園、南河原公園等の大規模な公園が重要とする意見が出た。 <p><子ども会連合会へのヒアリング調査について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会関係の方が来るということでもう少し沢山の人が来るのかなと思った。先ほどの報告にもあったように、皆さん地域性はあるが、住んでいる場所にすごく自信を持っている。住んでいて良かったという意見があった。その地域に住むことによって自信を持つというか、誇りを持っていた方が多い。 ・3人で行ったが、10人からしか回答を得られなかった。 <p><アンケート調査等の報告及び地域資源の検証について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園等の保護者向けのアンケートやヒアリング、PTA協議会へのアンケートも返ってきて、これで500件程度のアンケートが集まった。報告だと夢見ヶ崎公園や南河原公園という公園があることが子育て世代にとってメリットであるのかもしれない。実際にこの部会でこういう情報発信をしていくのもいいのかもしれない。 ・読み込みをしてきたが情報量が多いので整理をして話さないといけない。 ・これまでの区民会議の時に出了た話だが、年齢層に応じて回答が偏っている。そうではないかと思う。自分の肝いりである御幸公園の数が少ないというのは気になる部分もあるが、数の順番で行けば夢見ヶ崎動物公園が幸区においては一

番のイベント場所だというのは誰もが認めている部分である。御幸公園は良いところであるが梅も育っていないし、これからの場所であることもはっきりした。アンケートから出るものについては出尽くしたと思っている。これ以上やっても数の多い少ないだけであって、新しい場所は出てこないのではないかとと思う。これからは「どこで、どういう媒体で知りましたか」という所が一番ポイントになってくる。これからは集約しテーマごとにまとめるのはどうか。例えば「いつイベントがある、どこにある」という内訳、広場であれば広い順番に並べるであるとか、テーマ別にPRするという形で、見方を変えて集計の方に絞っていった方が良いと思う。夢見ヶ崎動物公園が一番だが、それがすべてではない。ますます交通規制が増えて、マンションからクレームが増えて、一旦停止や駐車場待ちもだめと言われて出されてしまう。それでいて駐車場の案内もない。なぜ、同じ市や区でやっていながら出張所の前の駐車場を開放しないのか。それが出来ないのであればどこかの広場を借りて送迎バスを出すとか、これ以上客を増やそうとしたらそういう所しかないし、今の数で満足しているわけではない。さらに人を夢見ヶ崎動物公園に集めるにはどうしたら集まるかということではないか。一方、御幸公園で言えば交通の便が悪い。バスで行くしかない。もっと便を良くしないと人は集まらない。行っても駐車場がないのですぐ帰ってしまう。どうするかという二面性を持って、公園にいかにか今以上に人を集めるかという考えに知恵を絞っていく。後はテーマ別に分けて、いつやっているかということも書いてあげないと、終わってから知っても遅い。いつイベントがありますよということをやるということも今後の重要課題だと思っている。これだけのデータが出たというのは我々にとって非常に重要な財産なので、これをいかに活用するかという方向に変えていく必要があると思う。

⇒ 今は調査ごとに並べているだけで非常に見にくい。委員の方もトレンド等を整理しにくい素材になっている。時間の関係でこのような形になっているが、次回は調査結果の検証をやっていく予定になっているので、テーマという話もあり、全体をブラッシュアップしてどうか、地区ごとにどうかなど、それから少数意見でも各分野で少しずつ出ているものもある。なのでキーワード、例えば「電車が見える場所」として見たときに、少数意見だが各分野で出ていたりして、意外にそういう場所もあり、コミュニティカフェや相談できる場所もある。色々なカテゴリーで整理していく情報を、今の素材ではなかなかそこまで見ることができないので、その情報の整理は再度事務局がし、それを踏まえながら整理して頂けたらと思う。

- ・ 公園が色々あり、駐車場の問題、交通アクセスの問題もある。他にはこども文化センターや子育てフェアなど、そういうものの情報を欲しがっているのか、という所があって、できれば「何月にこういう所でこういうことをやっている」

というのが、一覧にイベントカレンダーという形になって出ていけば、それはそれでいいのかなと思う。発信の方法が意外と口コミが一番多かった。もう少しSNS等があるのかなと思ったらそれほどでもないの、市政だより等で情報を発信していくことも今まで以上に必要なことになってくるのかと思う。

- 場所的な面では「広いところ」、「緑が多いところ」に魅力がある。先ほど出た御幸公園の場合は交通の便が悪いというのが一番あり、駐車場が狭いというのもある。こういう場所の魅力だけではなく、色々情報を得られる場所、この中には赤ちゃん相談などもあったが、赤ちゃん相談をやっている間に母親たちの情報交換の場所に集まっていただけの何かがあればいいのかなと思う。子ども会はその中の一つになるのかなと思う。なかなかそのあたりの所は難しい。場所的なものではなく、情報を交換できるという魅力も必要なのかなというのが課題だと思う。
- 幸区ガイドマップと、おこさまっぷに全て羅列してある。これを越えるものをどう持っていくかという所がある。今から逐一洗い出して、これを越えるものをつくれるとは思えない。この会で、区民会議の提言というのはまた違う方向性を取らなければ、ガイドマップでいいのではないかという話になる。夢見ヶ崎についても、良いところも悪いところも全部知っている。わざわざ集まって検討する内容だろうか。
- 夢見ヶ崎に久々に行ったらすごくよくなっていたが、やはり駐車場、交通の便がどうかという所がある。どこか開放してくれるところがあれば、皆さんが行きやすくなる。それから外部から来た方が、夢見ヶ崎動物公園は無料だという話をすると驚く。100円でも200円でも取ればいいのに、という話を聞く。
- 餌やり等もやっていて、川崎市内で唯一の動物園ということで、発信していく。
- アンケートを見ていて、公園が沢山出ていて、特に広めの公園、そこに人気が集まるということは、地域にある公園が充実していないのではないかと思った。夢見ヶ崎公園はわざわざ外から来る人も多い。地域にある公園を見直し、洗い直した方が良いのではないか。
- 口コミで情報を得た人は、最初は何で知ったのか、ネットで調べたのか、市政だよりなのか、そこの最初の入り口が見やすいと食いつきが良いのではないか。区の物、市の物というのはすごく見づらい。情報だけ羅列するというのは、文字が細かく、色々な情報があるけれどすごく見づらいので、逆にそれを大きな字にするなど、見てわかるような、行ってみようかなというようになるのではないか。口コミをする人というのは行ってみようと思うかもしれないが、出不精の人間はもう少し綺麗にわかりやすくないと、怪しいなと思ってしまう。もう少し見やすくすると、ちょっと行ってみようかな、と思っている人が行こうかなと、思うのではないか。

・アンケート調査について、PTAの物は読んでいないのでそれ以外の二つについて、時間がないのでペーパーにまとめたのでそれを読ませてもらう。検証の視点について、傾向分析として対象が子育て世代の為、「近い、便利」「楽しめる、遊べる」というのが選択の基準になっていて、広めの公園、子育て支援施設、エンターテインメント系のラゾーナに集中している。少ないスポットで発掘があるかということに関してはいくつかあるが、特筆するところまではない。ターゲットに知ってほしい資源が発掘できたかという視点については、新しい発掘はなかった。個人的には親子食堂や親子のたまり場というのがあったので、興味がある。複合的に利用できるような紹介が有効ではないか。4点目として住み続けてもらうという魅力発信ができたかという所で、上のように一つのスポットではなくて、複合的にスポットを利用する魅力を訴求することがいいのではないか。情報は今見たように口コミが圧倒的で、これから課題の発信方法は個人への働きかけ、情報交換の場の提供・活用が不可欠だろう。今、各地域で動画をつくって流しているが、あれはかなり有効らしいので検討の余地があるのではないか。

今後どういう調査をしたらいいかという事で、一つは対象を広げるかという課題があるが、これは子育て世代以外にどうするかなのだが、今回は子育て世代にターゲットを絞ったので、あえてこれ以上は広げない。子育て世代以外についてはこれまで行政が蓄積しているデータがあると思うのでそれを活用できないか。重要な所は魅力の掘り下げだが、今出たように「公園の魅力度アップ」、もう一つは「子育て支援の整備、充実」。この二点にフォーカスして掘り下げたらどうか。これからすると、公園の現地調査と子育て支援センターへのヒアリングをするのはどうか。注釈として提言までもう1年を切っているので、これまでの議論を踏まえて、現時点での仮説を立てた上でそれを検証して具体化していく作業に取り掛かっていくのが良いのではないか。次が仮設の設定という事で、「住みたい、住み続けたい」という子育て世代の要望に応える魅力度アップの施策として、大きく次の二つのテーマに絞ったらどうか。抜本的な待機児童問題の解決についてはここでは対応できない。一つは「子育ての環境」、二つは「子育て支援」という大きい区切りをつくって、環境については公園の整備充実とレジャー文化面の強みのアピール。具体的には色々欠点はあるけれど、三大拠点公園として夢見ヶ崎、南河原、御幸、それぞれの魅力度をアップする。この3つを年間通じて三大公園祭りのようなものやってもいいかもしれない。中身としては施設、遊具、イベントで他にない、幸区以外にない優位性の高い地位が確立できれば。今までの議論で出ているアクセスの対策も必要である。

二つ目は利便性の強みを生かしてレジャー、音楽、科学とエンターテインメント面から西口のラゾーナ川崎、ミュージア川崎、東芝未来科学館を3点セットと

して前面に打ち出したPRもいいのではないかと。先ほど読んだPTAのアンケートの中で、自由意見として西口の所は川崎地区という色合いが強くて、幸区という位置づけでは必ずしもないという意見があった。幸区の魅力として再設定すればいいのではないかと。小さいが、さいわい緑道と二ヶ領用水、これらの四季に応じた魅力度アップの取組も考えられるのではないかと。

子育て支援については、施設とサービス面の強化に尽きると思うが、子育て支援センター、特に今回はかんがる一に魅力を感じた。子育て支援センターを中核にして、こども文化センター、市営保育園との連携できめ細かい対応が出来るのではないかと。かんがる一とどりーむ保育園の取組をモデルとして、区内への展開を模索したらどうか。保育園でも抱えている園児以外へのサービスを行っているところもあったので、そういったものを体系化して、他の施設への普及を図る。

先ほど意見で出ていたようにおこさまっぷはとてもよくできているので、上記の趣旨に沿って更なる工夫改良を加え、子育て世代にとって必須のアイテムにして、これを区外への口コミの媒体として役割を活かすことを期待できるのではないかと。

子育て支援センターは7つあったが、ふるいちばのような単独型、かんがる一のような保育園併設型、そして児童館型と3つの類型に分かれているので、今後の調査として類型3つを深掘りするのも良いのではないかと。たまたま前期の区民会議でふるいちばは見てきた。

以上がアンケート調査に対する感想で、皆さんの意見と重複している部分があると思うが、今回と次回でかなり整理をしていかないと次に行かないと思うので、仮説をつくった方が良いのではないかと。

- 今ご意見を頂いたが、これ以上アンケートをやっても違う結果が出てくるとは思えない。この部会がターゲットにしているのは子育て世代で、将来的にも幸区に住んでもらうための魅力発信である。今挙がっている公園を今後どうやっていくか。それから子育てに対してどういう施策があるのか、地域ごとに保育園などいろいろなことをやっている。そのあたりについても今後は実際に伺ってどんな施策があるのか聞きながらまとめていくという形ではどうか。
- 幸区は川崎の西口には沢山のエンターテイメントがあるが、あの辺りは川崎という感じで幸区という感覚がなくなってしまう。ラゾーナ・ミュージアム・東芝未来科学館、それを一つのポイントとしながら、幸区はこんなに大きな公園がありますよという形で情報発信していく。なおかつ、各施設の子育て支援の活動に携わっていくような団体も掘り下げていければ。
- 公園が今ちょっとテーマになっている。子育てを切り口にしたときに、わかりやすくいうと公園は「子育て環境」としている。「子育て支援」はもう少しサービス的な方向。施設への普及というのは、やっていないところもやってもら

うという意味。

- ・絞っていくと切られてしまう所もある。先ほど言われた地域の公園という話は漏らすべきではないが、ここでそこまで手を広げるのは無理だと思う。そういう絞り込みは必要だと思う。検討のたたき台をつくった方が話がはやいと思う。
- ・地域の公園はいっぱいあるが、ボール遊びをしてはいけないなど、小さい公園は制約が多い。昔はキャッチボールをやったり、ドッジボールをやったりできたが、今は小さい子ども達が遊ぶような公園ではキャッチボールはできない。網を掲げて中でキャッチボールをやるところもあるようだが、基本的には今アンケートで出てきた三つの大きな拠点の公園の整理、情報発信する先のターゲットとしての子育て世代には幸区には子育て支援の施策が充実しているよということが持ってこれる方向性なのではないかと思う。
- ・三つの公園は外せないと思う。今回のアンケートで分かったのは、小さな公園でもこんなイベントがある公園なんだな、というのが分かった。例えば公園での祭りなどの情報を提供する、今のマップには公園の名前しか出ていないので、公園のイベントをまとめたものを出す。どちらに絞るかというのは、やはりこれは両方必要だと思う。最初は公園で始まったけれど年齢層を絞っていく上で2番の子育て支援が多く出てきた。そうしたら2番の子育て支援の必要性というのは絶対あるので、そうなった場合に無料で開放している園庭があったりすると探してみよう、となる親もいるので、並行して持っていければ。1番の公園について、三大公園についてはそれ以上のものをやるためには提案を重ねることだと思う。
 - ⇒ 今の資料ではわかりにくく、分析が難しいので、次の会議に向けてどのような資料をつくる必要があるか。例えば子育て環境と子育て支援にフォーカスして分析できるようなものを仕上げた方が良いのか、指摘を頂ければ。
- ・すっきりさせないと話が進まないなので枝葉を切ってこういう風にしたが、これがベストとは思っていない。事務局としてこれはこれとして、枝を増やすとか、これを切るとか、これをたたき台にしてさらにブラッシュアップした調査材料、検討材料を出したら良いのではないか。
 - ⇒ 今調査を整理している内容というのが基本ベースなので、少しアレンジして、傾向が分かるような資料があった方が良いか。
- ・あまり細部に入りこんでしまうと時間が無くなってしまう。シャープな答申がしたいので、どこかで枝を切らなくてはいけない。
 - ⇒ 今回の提案を参考に、必要となるような情報を整理させていただく。
- ・アンケート調査の目的は何だったのか。それを使って何をしたかったかという所が成川委員の話で分かってきたが、道具は皆さんの子育てに役立つよ、どうやって役立つかという落としどころが少しはっきりしたと思う。これ以上いろ

んなものを提示しても結局3大公園にまとまってしまわないか。

⇒ 魅力度アップや、どう今の魅力をよくしていくかという視点での部分だけを切り抜いて整理するというのもできるかと思うので、判断材料になるようにする。

- ・生の声を聞きすぎてしまっている。アンケート結果については、団体など関係なくすべてまとめて集計してはどうか。
- ・もう数はいらなと思う。
- ・町内会で子育て支援はかならずやっているわけだから、それらのイベントをカレンダーにしてここに行けばこういうことをやっている、というのが必要になってくると思う。せつかく同じ幸区の中で共通認識としてできていくのではないか。
- ・現地調査を改めてやるにあたって、子育て支援センターへの訪問とヒアリングは組んでほしい。
- ・これ以上、アンケート調査は行わない。
- ・実際に三大公園に行って、目で見て意見を出し合えれば良いと思う。
- ・個人的にはかんがる一をやってほしい。

以上

第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【委員(部会別、50音順)】

平成29年3月21日現在

人にやさしい交通安全部会(A部会) (安全・安心で人にやさしいまちづくり)		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 青木 晴彦	幸区医師会	
2 阿部 法弘	幸区PTA協議会	
3 飯島 忠男	公募	
4 小野 晴子	公募	
5 金田 さとみ	幸区子ども会連合会	
6 ケオパサート ラツアミチャン	区長推薦(多文化共生)	
7 坂口 功	幸区老人クラブ連合会	
8 渋谷 多美枝	公募	
9 高橋 美三子	幸区交通安全対策協議会	
10 橋本 文夫	さいわい加瀬山の会	
11 三浦 忠一	幸区自主防災連絡協議会	

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会(B部会) (幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 阿部 稔子	日吉のワッ	
2 伊藤 善通	公募	
3 大野 勝彦	幸区保護司会	
4 神谷 修	区長推薦(産業)	
5 佐野 禎彦	幸区民生委員児童委員協議会	
6 高橋 希	日吉商店街連合会	
7 中原 敏子	幸区社会福祉協議会	
8 成川 慎一	幸区町内会連合会	
9 松井 節子	幸区文化協会	

【参与(50音順)】

氏名	所属
1 小田 理恵子	かわさきしぎかいぎいん 川崎市議会議員
2 釜原 茂哉	
3 かわの 忠正	
4 ぬまざわ 和明	
5 のだ 雅之	
6 やまだ 益男	
7 わたなべ 学	

氏名	所属
1 市川 よし子	かながわけんぎかいぎいん 神奈川県議会議員
2 田中 徳一郎	